

日浦地区タウンミーティングでいただいた意見等と市の回答

☆	項目	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	魅力	日浦地区には山林がたくさんある。水源涵養林もたくさんある。この森林を利用して森林公園をつくっていただきたい。涵養林とともに市民が遊べる森林浴ができる公園ができたらいいと思っている。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>水源涵養林は、保水や洪水緩和、さらには自然の自浄作用による水質浄化など「緑のダム」とも呼ばれる重要な役割を果たしていることから、松山市では放置竹林対策などの涵養林整備に取り組んでおります。</p> <p>いわゆる「森林公園」には明確な定義がなく、山間部などで、散策や森林浴など、山の豊かな自然と親しめる場として整備されたところが一般的に呼ばれており、松山市近郊では、伊予市の「えひめ森林公園」や久谷地区の「久谷ふれあい林」などがあります。また、近くでは「高縄山天神ヶ森」がございますので、ご利用いただきたいと思います。</p>	<p>水資源担当部長付 花山 康司 948-6947</p> <p>農林水産課 安永 幸生 948-6562</p>
2	魅力	地区の魅力の一つであるホテルを市内からも多くの人が見に来られる。ホテルの遊歩道のようなものを整備いただけないか、実現の道筋をつけていただきたい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>石手川ダム水源地域ビジョンの枠組みの中で、実施の可否も含め検討させていただきたいと考えておりますので、水資源担当まで、ご相談いただきますようお願いいたします。</p>	<p>水資源担当部長付 花山 康司 948-6947</p>

3	産業	来年から国の制度が変わり搬出間伐でないと補助金が出ないと聞いている。市で切り捨て間伐も補助していただきたい。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>本市では、平成 19 年度から水源林総合整備事業として、日浦地区において、放置されたスギ・ヒノキの人工林の間伐を実施しており、今後も間伐を中心とした森林整備を計画し、推進していくこととしております。</p> <p>一方、国による間伐に対する補助事業制度は、詳細な事業内容が現時点でも示されていないため、今後の国の動向を確認しながら、本市の対応を検討したいと考えております。</p>	農林水産課 安永 幸生 948-6562
4	まちづくり	限界集落に近付いており、後継者が山を十分に知らない状況になっているので、早いうちに国土調査をしてもらえないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>山間部の地籍調査を行なう重要性は認識しておりますが、現在は都市計画に沿った地籍整備を行なっておりますので日浦地区の地籍調査実施の予定はございません。</p> <p>今後、日浦地区の地籍調査を実施するには地区の役員各位にご連絡を差し上げますのでよろしくお願い致します。</p>	用地課 三井 忠明 948-6480
5	産業	放流補助について、できれば重信川と同等にしていただきたい。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>放流補助については、市の栽培漁業推進事業として海域で 8 漁協、河川域では湯山と重信川漁協の 2 漁協において種苗放流を実施しているところではありますが、海域、流域面積、漁場管理委員会の増産目標値等も勘案しながら費用対効果の面においても、出来るだけ不均衡のないよう限られた予算の中、工夫を重ねながら現状の水準を保っていることをご理解いただきたいと思います。</p>	農林水産課 竹縄 良一 948-6564

6	産業	有害鳥獣にシカを加えてもらえないか。カラスの被害も大きく補助、報奨金を出してもらえないか。近隣では出している。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市鳥獣被害防止計画での、対象鳥獣は、イノシシ・サル・カラス・ヒヨドリの四種類となっており、本市では、イノシシ、サルによる農作物被害が大きいいため、この二種を報奨金対象としています。シカやカラスの農作物被害も多いことは認識しており、被害防止対策協議会でも、これらの問題について話合っているところです。</p> <p>今後、被害状況の把握に努め、協議会等で報奨金の全体的な見直し等を含め協議を重ねて参りたいと考えております。</p>	農林水産課 山本 秀彦 山本 常稔 948-6567
7	環境整備	し尿処理の汲み取り補助が2割カットされた。ダム上流域ということで協力している。全額補助をお願いしたい。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>し尿くみ取り手数料の補助は、当時主流であった単独浄化槽の普及を抑制し、水道水源の水質保全を図ることを目的に平成5年度に創設したのですが、平成13年度以降、合併処理浄化槽の設置が義務付けられたことから、し尿くみ取り手数料の全額を補助することは、水質保全に最も適している合併処理浄化槽の普及促進に逆行してしまうことから、平成19年度に補助制度を見直したものであり、全額補助に戻すことは考えておりません。</p> <p>しかしながら、石手川ダム上流域の水質保全の必要性は十分認識しておりますので、今後の方向性等について協議してまいりたいと考えております。</p>	公営企業局 浄水管理センター 半田 丈士 977-0510

8	まちづくり	<p>河中出張所には住民票等の端末機が設置されていない。早く設置をお願いしたい。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>河中出張所に端末機を設置することは、初期投資と維持管理費用を要するため、困難でありますことから、お客様に再度、窓口にお越しただかなくてよいように、自宅へ証明書をお届けする『住民票等 宅配サービス』を河中出張所及び泊出張所において、12月1日から開始いたしました。</p> <p>これにより、午後3時まで窓口にお越しいただいた場合には原則として即日、午後3時以降の場合でも、翌日の夕刻前にはお届けすることになります。</p> <p>※ 取扱事務 戸籍・住民票・印鑑証明・税証明の発行 (受け渡しは申請者本人のみで、発行手数料は必要ですが、宅配手数料は無料です。)</p>	<p>市民政策課 石原 英明 948-6333</p>
9	まちづくり	<p>河中の診療所が廃止されたが、再開できないか。 再開できない場合、地域の使い勝手のよいコミュニティハウス(集会所)として利用できないか。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>湯山診療所につきましては、受診者数の大幅な減少や施設が老朽化する中で、地元関係者とともに協議を重ねた結果、近隣に在宅医療サービスが利用できる医療機関が複数あることが確認できたことから、地区の診療所運営協議会や利用者のご理解をいただき廃止しており、診療所の再開は、非常に困難です。</p> <p>そこで、現在の建物を地域のコミュニティハウス等として利用することにつきましては、地元の皆さんで活用方法等についてご協議いただき一度ご相談いただければと思います。その上で、ご希望の形で利用いただける</p>	<p>医事薬事課 榎田 一義 911-1804 市民参画まちづくり課 矢野 和喜 948-6963</p>

				かどうか、費用的なものも含め検討させていただきたいと思います。	
10	教育	<p>日浦小中学校は現在小中一貫教育を推進している。小中一貫校としたいと歴代校長も教育委員会も声を上げているが実現していない、条件的には非常に整っている。ぜひ実現してほしい。9年前に残していただいた学校がだんだん衰退している。複式になるんじゃないかと困っている。どこかでやめらんだったらやめる、やるんだったらやるというのをはっきりさせていただきたい。</p> <p>スクールバスのバス停について、時間的、距離的、人件費の問題があると断られている。日浦は本当にいいところ、地域の応援があって、少人数でいい教育が受けられる、教育レベルも非常に高い、でも来てもらえない、これはバスの停留所だけの問題である、検討をお願いしたい。バスの運行もいろんな方法があるのに今のルートが基本というのでは全然前向きではないので、いろんな意見を聞いて考え直してもらう必要があるのではないか。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>小中一貫校は、小学校と中学校とを一体とした義務教育学校の設置が国の法令の改正によって認められない限り、自治体が設置することはできません。他県市において見られる小中一貫教育も、現在の小中学校の枠組みの中で小中連携を進めているものが多いのが実情です。現在、国の中央教育審議会において義務教育学校の設置について検討しているところであり、松山市としてもその動向に留意しているところであります。こうした中、松山市では国に先んじて、平成16年度から小中一貫を目指した教育を日浦小・中学校の魅力づくりの一つととらえ、校長を小中兼務とし、一貫した教育目標のもと可能な限りの連携教育を深め、他に誇れる素晴らしい成果を上げています。松山市として、今後も日浦小・中の連携を一層深めた充実した学校づくりを支援してまいります。</p> <p>スクールバスの運行については、日浦小・中学校の魅力である少人数学習を保障していくための上限として、各学年10人程度という募集人数を設けています。これが小中全学年において満たされた場合でも、地元生を除く80名程度の送迎が可能であるように2台のバスを運行しています。</p> <p>運行ルートについては、学校とも相談の上、</p>	<p>教育委員会 学校教育課 八木 誠一 948-6591</p>

		<p>子どもたちのことを中心に考えて、何か触ることによって改善することがあればぜひ前向きに検討していただきたい。</p>		<p>児童生徒の健康に配慮し適正な生活のリズムが保たれるとともに、学校の教育課程にも支障のないことを最優先としています。そのため、市の中心部にある松山市庁舎第4別館駐車場を発着点として、できるだけ短い距離を短い時間で運行できるルートを設定しています。停留所についても、市内のどの地域から通われる児童生徒に対しても一定の利便性を確保しつつ、大型バスの停車や保護者による送迎の利便性、付近の交通量なども考慮して設定しています。新たな停留所を設けることについては、現在のルート上にあることを原則として、設置希望の内容に応じて、発着時刻の変更や学校の教育課程への影響等について学校と相談し、付近の交通量等も勘案しながら検討してまいります。</p> <p>松山市としましては、現在通っておられる児童生徒や、今後転入学を希望する児童生徒と保護者が、どの地域にお住まいであっても、公平な通学条件や学習条件を提供することが市の責務であると考えておりますことをご理解くださいますようお願いいたします。</p>	
--	--	--	--	---	--